

DO 測定①▶▶

週

材料・器具：測定キット・データシート・安全眼鏡

※このマニュアルに使用している写真は室内で撮影していますが、実際の DO 測定は、フィールドで行うのが基本です。ただ、酸素の固定が終了すれば、持ち帰って測定は屋内で行っても構いません。

本マニュアルでは、HACH 社製の DO 測定キット〈OX-2P〉を例に説明しています。



HACH社製OX-2P

酸素の固定

①：キット専用のガラスビンに採水する。
中に空気が入らないよう、水中で栓を閉めてから取り出すと良い。



②：付属の薬品を、薬品 1 →薬品 2 の順に加える。
(ガラスビンの壁面に薬品がつかないように、細心の注意を払う。)



①

③：薬品を加えたら、手早く栓をする。中に空気が入らないよう慎重に。ポンと落とすようにするのがコツ。



③

④：栓をしたらよく振り、ガラスビンの白線より下に沈殿するまで待つ。



④

④をもう一度繰り返す。

これで酸素の固定が終了となる。ここまでは必ず採水直後に終えなくてはならない。

DO 測定②▶▶

週

材料・器具：測定キット・データシート・安全眼鏡

測定する

⑤：再び白線より下に沈殿したら、薬品3を加える。

(薬品3は、キット内の円柱形のケースに入っている。これも、薬品1・2と同様、ガラスビンの壁面に薬品がつかないように細心の注意を払う。)

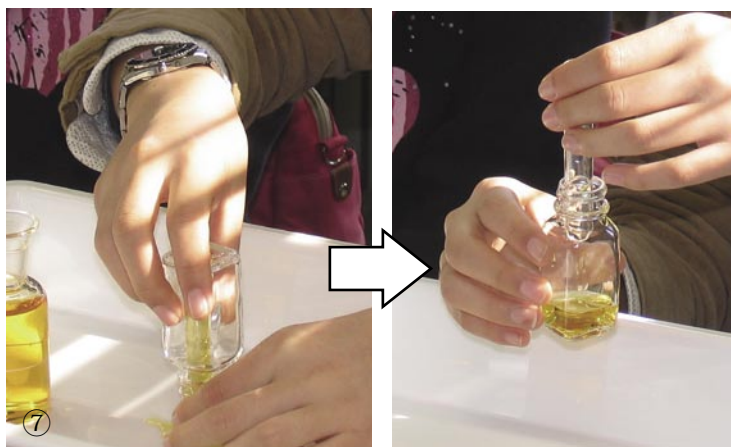
薬品を加えた後、ビンをよく振って、沈殿を全部溶かす。



⑥：ガラスビンから試料を付属のプラスチックチューブに一杯になるまで注ぐ。(溢れてもいいようにバットの上などで作業を行うと良い。)



⑦：試料をこぼさないよう気をつけながら、付属の四角いガラスビンの中に移し替える。(写真のように一度ビン逆さまにして行うとこぼれない。)



DO 測定③▶▶

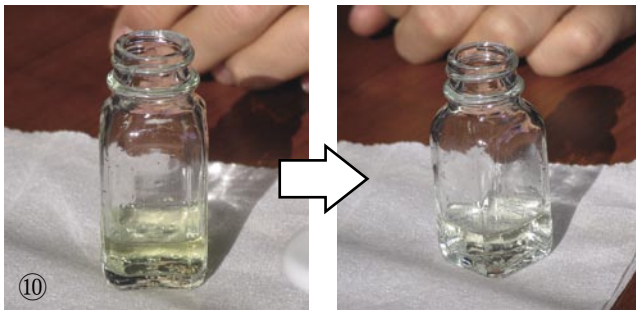
週

材料・器具：測定キット・データシート・安全眼鏡

測定する

⑧：茶色のボトルに入った薬品を滴下する。
一滴加えたら、ガラスビンをよく振る。
※何滴薬品を落としたかが最終的な測定の値に直結するので、よく覚えておく。

⑨：試薬の色が透明になるまで、手順⑧を繰り返す。薬品を滴下するごとに下の写真⑩のように試料の色が変化する。



記入する

滴下した薬品の滴数をそのままデータとして記入する。

⇒グローブデータサーバーに送信！



廃液は必ず廃液タンクなどに捨てる！